

著名工事 視察の手引

本欄は次の順序に掲載します。①工事箇所名稱。②工事設計の特長。③工事用設備。④工事現状。⑤設計者又は監督主任者。⑥請負者又は施工主任者。⑦竣工豫定。⑧視察道順。⑨附近名所

港灣

①大阪港（大阪市營）②矢板岸壁（土壓輕減工）上屋、防波堤（杭打基礎ケーソン）浚渫可動橋（ロール式）にして地盤特に軟弱なる爲特殊工法を採用す。③ドライドック一個、浚渫船9隻、浮装起重機4隻、曳船10隻、土運船25隻、浮装杭打機3隻、機械工場1ヶ所。④總額約20,000,000圓の工事豫算の内六分通進捗、本年度使用見込工費約3,000,000圓。⑤港灣部長福留並喜氏、技術課長松田健作氏。⑥直營工事、中原理灘係長、近藤第一工事係長、前田第二工事係長、高見機械係長。⑦昭和十二年度。⑧大阪驛下車、電車自動車バスの便あり。⑨大阪市。

①清津港修築工事（朝鮮總督府清津土木出張所）②明治41年開港以來、本港の發展に伴ひ港灣設備の必要を生じ、大正11年起工す。平均水深20米なる深海に防波堤を築造し、岸壁總延長915米にして3,000噸級乃至5,000噸級汽船7隻を同時に繫留し得。③石材採取場（高株山及天馬山麓）砕塊工場設備（進水斜路、製作臺、鋼製型枠移動裝置、混擬土製造並に送達機、碎石製造場）④防波堤全延長600米完了、岸壁915米の内600米完了、繫船開始せり。⑤所長野寅吉氏、主任技師佐々木大策氏。⑥直營工事。⑦昭和10年3月末日。⑧海路は日本海横断航路により敦賀より定期船二隻毎月各三往復、新潟より定期船一隻毎月三往復、陸路は京城より鐵路咸北線に依る。⑨府内名所に清津神社、躑躅ヶ丘、高株山、天馬山等あり、府外に朱乙溫泉あり清津より鐵路及自動車にて約2時間を要す。

①清津漁港修築工事（朝鮮總督府清津土木出張所）②近來水産業頗に旺盛にて在來漁港に付地利不良の爲新輪城川口左岸に安全なる掘込式船溜を築造するものとす。物揚場用混擬土矢板打込設備としてターピンポンプを設置し、水射式工法とす。③昭和八年四月起工、④所長野寅吉氏、工事主任技師佐

々木大策氏。⑤直營工事。⑥昭和十年三月末日。⑦清津より陸路自動車にて約20分。

①城津港貯木場修築工事（朝鮮總督府清津土木出張所）②北鮮の拓殖計畫に基き奥地より城津港に搬出せらるゝ木材41萬尺べに上るを以て新に貯木場を築造し林產業の發達に資せんとす。③省略。④昭和八年四月起工。⑤所長野寅吉氏、工事主任技師佐々木大策氏。⑥直營工事主任技手早坂廣次郎氏。⑦昭和十年三月末日。⑧陸路京城より咸北線、海路伏木浦鹽間、大阪清津間の定期及不定期船あり。⑨城津公園、卵島、摩天嶺。郊外自動車にて約40分にして松興溫泉及細川溫泉あり。

河川

①輪城川改修工事（朝鮮總督府清津土木出張所）②現輪城川を遙か西方に付替平野部流路改修水利灌溉の助成及び將來清津港發展市街地の建設に充分餘地を有せしむ。本工事は窮民救濟事業なり。③土砂運搬用としてガソリン機關車5輛を運轉す。④昭和六年着手、流路延長9杆の内上流一部を残すのみなり。⑤所長野寅吉氏、工事主任技師佐々木大策氏。⑥直營工事、現場主任技手古賀一得氏。⑦昭和十年三月末日。⑧清津より約一里乗合自動車の便あり。

①多摩川筋丸子橋架設工事（東京市大森區田園調布町）②有効幅員11.0米橋長397.3米、低水敷48.0米鑄鋼拱橋3連、洪水敷242米混擬土拱橋10連。③ステフレック型動臂起重機木製1臺鐵製1臺、混擬土用ウォーセクリーター1臺、鐵界降塔高60—105尺6本、水替用ターピンポンプ6時3臺4時2臺、セットポンプ1臺、④橋脚基礎井筒混擬土打終了内5箇は沈下済1箇は目下沈下作業中、橋臺神奈川縣寄混擬土打終了、混擬土拱橋6連混擬土施工済目下高欄人造石洗出中。⑤東京府土木部橋梁課。⑥請負株式會社錢高組。⑦昭和九年九月。⑧東京橫濱電鐵丸子多摩川驛下車。⑨多摩川園、溫室村。